

ルドンと日本

2020年4月10日(金)～ 6月14日(日)

* 印は寄託作品 □印は個人蔵

展示室1a ルドンと日本—ルドンと世紀末パリの画家

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
ビエール＝ミューヴィド・シャヴァンヌ	1824-1898	《慈愛》のための習作	1893-94頃	油彩、紙
ギュスターヴ・モロー	1826-1898	ピエタ	1854	油彩、画布
		聖セバスティアヌスと天使	1876	油彩、板
カミュ・ピザロ	1830-1903	牛の番をする農婦、モンフコー	1875	油彩、画布
オディロン・ルドン	1840-1916	『夢のなかで』表紙＝扉絵	1882	トグラフ、紙
		王女マレーヌ(小さな聖母)	1892	エッチング、ドライポイント、紙
		シバの女王		木炭、紙
		山上の垂訓または預言者		木炭、コンテ、紙
		手稿		木炭、コンテ、紙
		神秘的な対話	1896頃	油彩、画布
		オリヴィエ・サンセールの屈辱	1903	油彩、テンペラ、グアッシュ、画布
		ファクトンの墜落	1905-06頃	油彩、板
		オルフェウスの死	1905-10頃	油彩、画布
		花	1905-10頃	油彩、画布
ビエール＝ミュー・ギュスト・ルノワール	1841-1919	泉	1910頃	油彩、画布
ポール・ゴーギャン	1848-1903	ステファース・マラルメの肖像	1891	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング、紙
山本 芳翠	1850-1906	若い娘の肖像	1880頃	油彩、画布
		裸婦 【重要文化財】	1880頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	1864-1927	急流のそばの幻影 または妖精たちのランドスケープ	1897	油彩、画布
藤島 武二	1867-1943	浴室の女	1906-07頃	油彩、画布
エミール・ベルナール	1868-1941	ボンタヴェンの市場	1888	油彩、画布
モーリス・ドニ	1870-1943	なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布
参考資料		ジュディット・ゴーティエ(著)、山本芳翠(挿画)『結婚集』	1884	冊子
参考資料		『パ・リユストレ』山本芳翠カレンダー	1884	冊子
参考資料		『ル・モンド・リュストレ』掲載 五姓田義松画『日本の祭』	1885	冊子
参考資料		フェリクス・フェネオン『文学者と芸術家の小伝集』	1886	書籍
参考資料		ジャン・フルー(著)、山本芳翠 他(挿画)『愛しき人』	1886	書籍
参考資料		サミュエル・ビング(著)『芸術の日本』	1888-91	書籍
参考資料		『世界の首都』山本芳翠挿画	1892	書籍
参考資料		ロベール・ド・モンテスキュー(著)、山本芳翠 他(挿画)『娯楽』	1893	書籍
参考資料		フェリクス・レガメ(著)『Japon』	1903	書籍

展示室1b ルドンと日本—日本におけるルドン受容

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
オディロン・ルドン	1840-1916	『夢のなかで』I 昇化	1882	トグラフ、紙
		『夢のなかで』Ⅳ 幻境	1882	トグラフ、紙
		『夢のなかで』Ⅸ 悲しき上昇	1882	トグラフ、紙
		『起源』Ⅱ おそろしき花の中に最初の視覚が訪みられた	1883	トグラフ、紙
		『起源』Ⅲ 不恰好なポリプは薄笑いを浮かべた醜い一ツ目巨人のように岸辺を漂っていた	1883	トグラフ、紙
		『ゴヤ嬢』I 夢の中で私は空に神祕の顔を見た	1885	トグラフ、紙
		『ゴヤ嬢』Ⅱ 沼の花、悲しげな人間の顔	1885	トグラフ、紙
		『ゴヤ嬢』Ⅵ めざめた時、私はきびしく無情な横顔の散髪屋の女神を見た	1885	トグラフ、紙
		光の横顔	1886	トグラフ、紙
		バルジファル	1892	トグラフ、紙
		樹	1892	トグラフ、紙
		光	1893	トグラフ、紙
		ブリュンヒルデ(神々の黄昏)	1894	トグラフ、紙
		『聖アントワーンの誘惑 第三集』Ⅳ 私の接吻には、お前の心のなかでとろける果実の味わいがある！…私を馬鹿にするのだね！さようなら！	1896	トグラフ、紙
		『聖アントワーンの誘惑 第三集』ⅩⅢ 顔を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896	トグラフ、紙
		『聖アントワーンの誘惑 第三集』ⅩⅦ アントワーン：これらすべての目的は何だろうか？悪魔：目的などはないのだ！	1896	トグラフ、紙
		キリスト	1897	
		ベアトリッチェ	1897	トグラフ、紙
		子供の顔と花	1897	トグラフ、紙
		カインとアベル	不詳	油彩、画布
		花の中の少女の横顔	1900-10頃	油彩、板
長谷川 潔	1891-1980	本の上の小鳥	1967	マニエル・ノブール、紙
木村 荘八	1893-1958 *	パンの会	1928	油彩、画布
坪内 節太郎	1905-1979	砂の花	1971	油彩、画布
伊藤 清永	1911-2001	裸婦	1979頃	油彩、画布
石川 勇	1922-1989	狂人船	1960	油彩、画布
井上 忠明	1930-1984	眼と精神	1968	油彩、画布
坂倉 新平	1934-2004	無題	1979頃	油彩、画布
参考資料		□ オディロン・ルドン《子供の顔と花》		

展示室1c ルドンと日本—ルドンとわたし

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
オディロン・ルドン	1840-1916	『エドガー・ポーに』I 眼は奇妙な気球のように無題に向かう	1882	トグラフ、紙
		蜘蛛	1887	トグラフ、紙
		『ギュスターヴ・フロベールに』II『聖アントワーンの誘惑』第二集)Ⅳ 聖アントワーン：どこかに始原的な形象があるはずだ。その身体は映像にすぎないのだ	1889	トグラフ、紙
		眼をとして	1900以降	油彩、画布
		オフィーリア	1901-02頃	油彩、紙
山本 芳翠	1850-1906	浦島	1893-95頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	1864-1927	消えゆく仏陀—オディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布
守 洞春	1909-1985	愚師	1955	木版、紙
水木 しげる	1922-2015	無題		墨、紙
島田 祐子	1934-	この窓からの眺め	2010	油彩、画布
土屋 健一	1946-	雲	1995	紙本着色
日比野 克彦	1958-	□ ケイショウ・エイゾウ	2016	ペン、色鉛筆、紙
傍島 幹司	1960-	赤と白の時間	2003	油彩、画布
参考資料		オディロン・ルドン(著)『A soi-même: Journal, 1867-1915』	1922	書籍